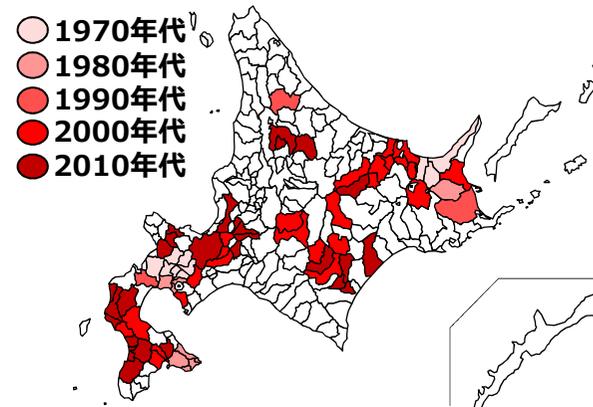


目が浅くて害虫に強いばれいしょ「北育28号」

背景

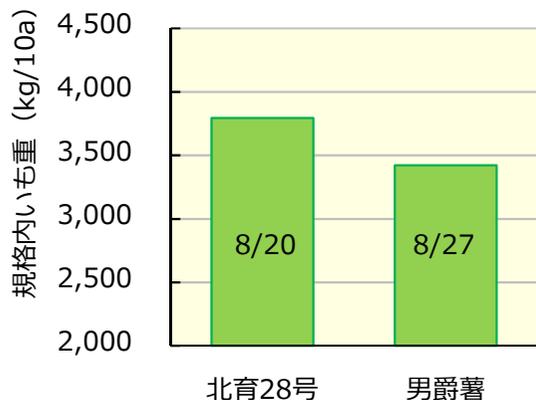
ばれいしょの安定生産には、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種の開発・普及拡大が長年の課題である。

成果



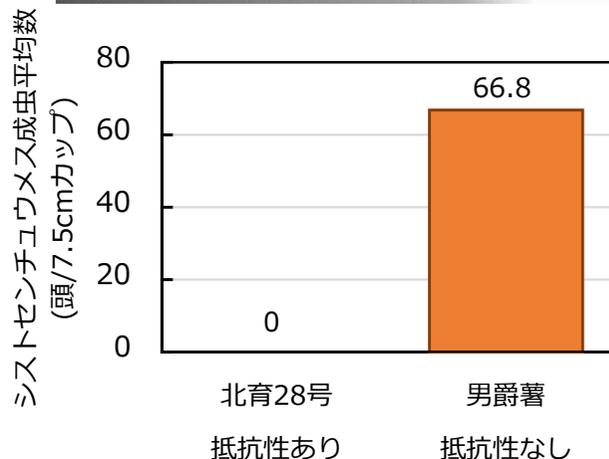
ジャガイモシストセンチュウ発生地域の拡大

1 わせ 早生で「男爵薯」より多収



注) 日付は茎葉が枯れる時期。

2 病害虫抵抗性が優れる



3 目が浅く、調理しやすい



「北育28号」は、「男爵薯」より皮がむきやすく、加工しやすい。

期待される効果

「男爵薯」の一部に置き換え2,000haの普及を見込み、ばれいしょの安定生産、栽培振興に貢献する。